

無料

ご自由にお持ち下さい。

人生を楽しむ寄り道あれこれ

楽園

VOL.77 / 2023.6.1

R A K U E N

contents

巻頭コラム じゃんご酔い ②⑨

三木賢治 3

昭和モノ語り ③⑤

雨にぬれても 4

畑中康博の 古文書パラダイス ⑤①

畑中康博 5

養生のヒント⑦

「がん～予防と早めの発見～」

秋田県医師会 秋田市医師会

柴田 聡 6

こらむ

古楽夢 ⑦⑥ —ちゃんとワケあり民俗学—

齊藤壽胤 7

那珂静男の 断片的日乗 ⑤⑨

那珂静男 8

寿限無のひとりごと ⑤⑨

佐々木隆一 9

イラストとエッセイ

気分草快 ⑦⑦

小野田セツ子 10

知られざる秋田の逸話 ⑨

星 則幸 11

薬膳万菜〈バンザイ〉! ④④

渡部恵美 12

醗酵ワンダーランドをゆく! ⑦

今野 宏 13

鳥海山物語 ⑦⑦

莊司昭夫 14

遠い異国の旅漂 ④

村岡信明 16

あの日、あのとき ③③

工藤 茂 17

知られざる秋田の逸話

〔第9回〕

星 則幸

身近にいた哲学者

立花希一秋田大学名誉教授

(その1)

昨年10月27日、田村陽子さん司会のエフエム秋田『あきたSDGsラジオ』に出演した際のこと。当時、番組キャスターを担当していた立花三央さんとの会話の中で、「お父さんは哲学者」という言葉が印象に残った。哲学者？ と不思議に思い改めて訊ねると、秋田大学名誉教授の立花希一氏という。調べてみたところ、「ようこそ立花希一のホームページへ」という私設サイト (<https://www.kichiposition.com/essays>) があり、共著を含む6冊の著書が紹介されていて、合計87本の学術論文とEssays (試論・小論) が掲載されていた。小論をいくつか読んでみた。そこには自然・社会・人間など世界のありとあらゆることを対象とし、正解がないかもしれない問題を探るのが哲学であるとしている。立花氏は、批判的合理主義を唱えた哲学者サー・カール・ライムント・ポパー (1902-1994年) の研究者だった。

インターネットで検索すると立花氏が翻訳された『科学の大発見はなぜ生まれたか』(2002年講談社) がヒットした。この本は、ポパーの高弟にあたるイスラエルのテル

アビブ大学教授ヨセフ・アガシの著書である。アガシの8歳の息子アローンとの間で実際にあった科学・哲学対話を凝縮した哲学入門書で、深く考えることの大切さを説いている。

講談社の販売部に問い合わせると現在は絶版となっているが、版を重ねた本なので古書市場ではかなり流通しているだろうとの回答があった。秋田市内のすぐ近くに講談社ブルーバックスの本を出版している哲学者がいるというのは新鮮な驚きだった。

以下は立花氏のプロフィールである。

1952年東京生まれ、75年に東京教育大学文学部哲学科卒業後、筑波大学大学院、80-83年イスラエルのテルアビブ大学哲学科に留学後、群馬大学、文教大学、国士館大学の非常勤講師を経て、87年から秋田大学教育学部講師、89年同助教授、95年同教授、2011-13年まで秋田大学附属図書館長、15-20年放送大学秋田学習センター客員教授を歴任されている。

ちなみに、立花氏の秋田大学定年退職記念講演によれば、1951年のアメリカ議会でマッカーサーは「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」という一文を退任演説に引用したが、この演説を翻訳し新聞に流したの當時、時事通信社外信部に所属していた立花氏の父、立花丈平氏とのことである。

今年の4月25日、私の経営するエトワール

コレクション (ギャラリー&ギター教室) へ三央さんとともに立花氏の来訪があり、2時間ほど歓談する機会を得た。終始、穏やかな笑みを絶やさず、初対面とは思えない気さくな印象を受けた。次回以降で、立花氏の哲学への思いを詳しく紹介していきたい。

(次回に続く)



星 則幸 (ほし・のりゆき)

1960年生まれ、福島県原町市 (現南相馬市) 出身。

武蔵大学経済学部経営学科卒、日本政策金融公庫で秋田支店長、南関東地区債権業務室長などを歴任し、退職後に秋田市内で新事業立上げ。日本将棋連盟公認将棋指導員。



無料

ご自由にお持ち下さい。

人生を楽しむ寄り道あれこれ

楽園

VOL.78 / 2023.8.1

R A K U E N



contents

巻頭コラム じゃんご酔い ②⑨

三木賢治 3

昭和モノ語り ③⑥

雨にぬれても 4

畑中康博の 古文書パラダイス ⑤②

畑中康博 5

養生のヒント⑧

「腰痛との付き合い方」

秋田県医師会 秋田市医師会

三浦 利哉 6

こちむ 古楽夢 ⑦⑦ —ちゃんとワケあり民俗学—

齊藤壽胤 7

那珂静男の 断片的日乗 ⑥⑩

那珂静男 8

寿限無のひとりごと ⑥⑩

佐々木隆一 9

イラストとエッセイ

気分草快 ⑦⑧

小野田セツ子 10

知られざる秋田の逸話 ⑩⑩

星 則幸 11

薬膳万菜(バンザイ)! ④⑤

渡部恵美 12

醗酵ワンダーランドをゆく! ⑧

今野 宏 13

鳥海山物語 ⑦⑧

荘司昭夫 14

遠い異国の旅漂 ⑤

村岡信明 16

あの日、あのとき ③④

工藤 茂 17

知られざる秋田の逸話

【第10回】

星 則幸

身近にいた哲学者

立花希二秋田大学名誉教授

(その2)

「哲学女子」なる言葉もあり、今は哲学ブームだという。コロナ禍前まで、秋田市でも、哲学セミナー、哲学カフェなど哲学イベントは時折開催され、盛況だった。哲学ブームは、1980年代にもあった。国民金融公庫へ入庫した83年4月から3年間杉並区善福寺にあった独身寮に住んでいた頃、26歳の哲学者浅田彰が書いた『構造と力』がベストセラーになり、六畳一間の部屋でこの本を読んでいた。

前回の記事掲載後、立花希一氏の実家はこの独身寮の真向かいにある家だったことを知った。寮のそばにあるいつも行っていた蕎麦屋や古書店、毎日、買い物をしていった中村屋は立花氏の幼少の頃からの思い出の場所だった。哲学者立花希一氏は本当に昔から私のすぐ身近にいたのである。

立花氏は、秋田大学の定年退職時に、居酒屋で卒業生たちと一杯飲む懇親会開催を条件に記念講演を引き受けたという。その講演の冒頭で父文平氏について「父は戦争の話をしない。一度だけ、酔っぱらっていたせいか、自分の親友は戦死した、自分より優秀な親友は死んで自分は生き残ったと言ったためと泣いたことがあった」と語り、両親が戦時中生き残ったので、私や子や孫がいるという話を紹介された。

お嬢さんの三央さんにお父さんはどんな方と訊

くと、「父は昔から男はこうあるべき、女はこうあるべきみたいな決めつけが全くない人で、仕事が忙しい母の代わりに家事を応分に担っていて、一緒にクッキー作りをしたり、ボタン付けなども父がやってくれた。そういう感じの人、好きなものはウイスキー、あと卓球」とのことだった。哲学者というクールな冷たい智者というイメージだが、立花氏は少し違った熱い思いを持った人物のようだ。

以下は4月25日に初めて会った時の立花氏との会話である。

立花「私は、正確には、哲学者ではなく、哲学研究者というべき者です。23歳の時に1冊の本を通じてカール・ポパーという哲学者を知りました。それ以来、ポパーの思想と深くかかわってきました。ポパーは、私とは50歳違いで、1902年にウィーンに生まれた20世紀最大の哲学者の一人です。この哲学者の思想を深く考えることから様々な研究論文を残してきました。ポパーが唱える思想は批判的合理主義と呼ばれていますが、分かりやすく言えば、闇雲に批判するのではなく、相手の考えを尊重し、敬意を持って真摯に誤りを正すことを是とする考えです。『和して同ぜず』相手への敬意を持って忌憚なく批判することが大切です。どんな組織においても、発言者が誰であろうと、真偽、善悪、正邪に照らして検討し、もしその内容に誤りがあると判断したら、率直に意見し、議論できる人物が望ましいと考えています。会社や役所などの組織も、本当はそのような人物を必要としているはずなのです。古代アテネに生きて死んだ哲学者のソクラテスはまさにそうした人物でした」

星「哲学は一般の人々には難しいものと思われているようですが」

立花「哲学は少しも難しくありません。普段の生活を送るなかで素朴に疑問に思うことを解くために知恵を出し合うのが哲学です。教科書にある哲学者の名前やその思想などを知識として記憶するのではなく、自分で答えの出ない問題を見つけて、自分の頭で考えるのが哲学なのです。それなので、誰もが知らず知らずのうちに多かれ少なかれ哲学をしているとも言えるのです」

都会では、哲学カフェやカルチャーセンターの哲学教室も大変人気で、若い方々に混ざり、定年を迎えて、新たに哲学を始めたいというシニア入門希望者も多くいる。退職後に「60の手習い」で哲学を学び始めるにはどうしたら良いか、あるいは哲学について何も知らないゼロベースで哲学を始めるにはどうしたら良いか尋ねてみた。立花氏はお勧めできる良い方法があると言う。その時の表情は確信に満ち、威厳のある古代ギリシアの哲学者のように見えた。

(次回に続く)

星 則幸 (ほし・のりゆき)

1960年生まれ、福島県原町市(現南相馬市)出身。

武蔵大学経済学部経営学科卒、日本政策金融公庫で秋田支店長、南関東地区債権業務室長などを歴任し、退職後に秋田市内で新事業立上げ。
日本将棋連盟公認将棋指導員。



人生を楽しむ寄り道あれこれ

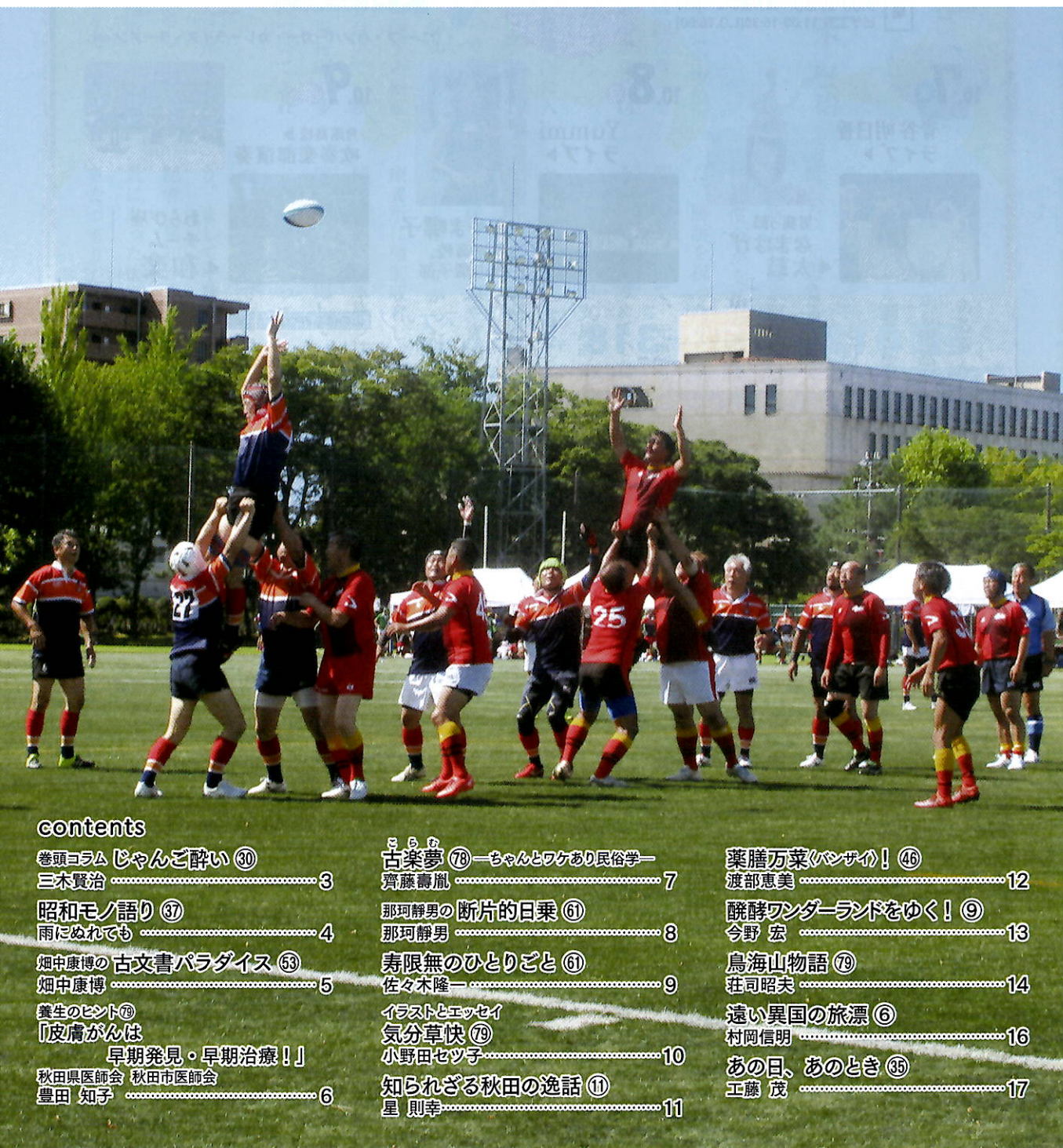
無料

ご自由にお持ち下さい。

楽園

VOL.79 / 2023.10.1

R A K U E N



contents

巻頭コラム じゃんご酔い ③	三木賢治	3
昭和モノ語り ③	雨にぬれでも	4
畑中康博の 古文書パラダイス ⑥	畑中康博	5
養生のヒント⑩	「皮膚がんは 早期発見・早期治療！」	
秋田県医師会 秋田市医師会	豊田 知子	6

こらね 古楽夢 ⑦ —ちゃんとワケあり民俗学—	齊藤壽胤	7
那珂静男の 断片的日乗 ⑥	那珂静男	8
寿限無のひとりごと ⑥	佐々木隆一	9
イラストとエッセイ	気分草快 ⑦	
小野田セツ子		10
知られざる秋田の逸話 ⑪	星 則幸	11

薬膳万菜(バンザイ)! ④	渡部恵美	12
醗酵ワンダーランドをゆく! ⑨	今野 宏	13
鳥海山物語 ⑦	荘司昭夫	14
遠い異国の旅漂 ⑥	村岡信明	16
あの日、あのとき ③	工藤 茂	17

知られざる秋田の逸話

【第11回】

星 則幸

身近にいた哲学者

立花希一秋田大学名誉教授

(その3)

前回の記事掲載後、立花教授から、初めてカー・ポパーを知ったのは23歳ではなく、正しくは大学3年生の20歳のときで、それまで一度もテキストを使って授業をしたことがなかった高木勲^{たかき くに}式先生がポパーの『科学的発見の論理』をテキストにした講義を受講したのが最初だったとの指摘と、次回の結末が楽しみとのメールを頂いた。立花教授が、20歳の時に出会った一人の哲学者と対峙し続け、その半生で培った哲学修得法のエッセンスをお届けしたい。

仏教ならお寺へ、キリスト教なら教会へ、音楽なら音楽教室へ行けば教えてもらえる。それに比べて哲学は大学教授以外に教えてくれる人はいそうにない。退職後に「60の手習い」で哲学を学び始めるにはどうしたら良いか、あるいは哲学について何も知らない人たちがゼロベースで哲学を始めるにはどうしたら良いか、立花教授は、それには「三段跳びの妙法」があると言う。

ホップ

「哲学の出発点は独学です。哲学を始める時に最初にやるべきことは、自分が抱いている疑問をまずは書き出してみることです。些細なことでも構

いません。ノートに一つ一つ丁寧に書き出して、問題を作っていきます。その際に大切なことは、誰にでも伝わる理解しやすい言葉で書くことです。少し注意深く見回せば、私たちは疑問に思う問題に囲まれていることに気付くはずですが、情報化社会の中で日々過ごしている私たちは、全てのことが分かっているような錯覚に陥りがちですが、実際には分からないことだらけの森にいます。そのことに自覚的になることが第一歩です」

ステップ

「疑問が出揃ったら、その答えを考えてみます。抱えている問題や疑問にはもしかしたら明快な解答がないものもあるかもしれません。そうした問題を考える時こそ、哲学の出番だと考えてください。考える時に一つのヒントとして、そのような問題に取り組んだ思想家や哲学者がいなか調べることは良いことです。ただし、どんな著名な思想家や哲学者が唱えた考えであっても、自分が納得がいかなかったら遠慮なく批判的に自分で考えてみて良いのです。自分自身で考えることに真の価値があります」

ジャンプ

「その問題について人と話せるぐらいになったら、同様に興味や関心をもってくれそうな人を見つけ、その人と議論をしてみます。その際の相手は哲学の教員である必要はありません。真摯に話のできる相手ならば、誰でもかまわないのです。自分で考えたことを説明して、それに対する感想を尋ねたり、議論したりして、本当に正しい答えを見いだそうとする、こうした探求活動を続けていくところこそが本物の哲学です」

この三段跳び法は誰にでも容易にできて、確実に哲学を学ぶ手助けになる方法であると立花教授は言う。

秋田市駅前にある大手書店には夥しい数の哲学書が並んでいる。そうした本のほとんどは専門用語に満ちた難解なものばかりである。それに比べて、立花教授の話は大変明快で分かりやすい。

哲学に取り組むことは、立ち位置に限らずだれにとっても意義があることで、万人は多かれ少なかれ哲学者であり、哲学の探究に終わりは無いというのが立花教授の持論だ。

ギリシアの大哲学者ソクラテスは、悪妻クサンチッペに悩まされて「汝が良妻を持たば幸福者にならん。悪妻を持たば哲学者にならん」との名言を残した。立花教授は大変な愛妻家で、お茶の水大英文科卒の奥様を卓球を通じて射止め、今も美容院、病院、スポーツクラブにもいつも一緒にいられているという。良妻に恵まれた、稀有な哲学者がこの秋田にいる。

(了)

星 則幸 (ほし・のりゆき)

1960年生まれ、福島県原町市(現南相馬市)出身。武蔵大学経済学部経営学科卒、日本政策金融公庫で秋田支店長、南関東地区債権業務室長などを歴任し、退職後に秋田市内で新事業立上げ。日本将棋連盟公認将棋指導員。

